

J Aグループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 2 6 号

【平成 23 年 6 月 20 日 (月) 発行】
発行：J Aグループ宮城災害復興本部
編集：J A宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8697 又は 264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

≪目次≫

I. 復興本部からの情報提供

1. 「J Aグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会」を設立
2. 4 農業団体にて「東日本大震災からの農業復興に向けた合同要請集会」を開催
3. 4 農業団体にて農林水産省、民主党・自民党・公明党へ要請活動を実施
4. 在日米国公使、在札幌米国総領事が激励訪問
5. J A愛媛中央会林会長が激励訪問
6. J Aグループ支援隊活動について
7. J Aグループ宮城復興支援隊活動について

I. 復興本部からの情報提供

1. 「J Aグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会」を設立

6 月 1 3 日 (月) J Aビル宮城において、「J Aグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会」を設立しました。県内 J A、酪農協、各連合会の 2 0 団体で構成され、福島第 1 原発事故に伴う牧草の利用自粛など、原発事故による県内農畜産物の損害をまとめ、農家の損害賠償請求の事務を支援します。

今後、園芸作物の風評被害や、牧草の利用自粛による経費負担などの損害をまとめ、J Aグループの損害賠償対策全国協議会の弁護士を通じて賠償請求を行います。

協議会設立総会では、農家や J Aグループ宮城への謝罪と損害賠償の全額支払いを求める東京電力への抗議声明も採択しました。

2. 4 農業団体にて「東日本大震災からの農業復興に向けた合同要請集会」を開催

6 月 1 3 日 (月) 農業共済ビルにおいて、宮城県農業共済組合連合会、宮城県土地改良事業団体連合会、宮城県農業会議、J A宮城中央会の 4 団体主催で「東日本大震災からの農業復興に向けた合同要請集会」を開催しました。

県内 J A組合長ら 7 0 名が出席し、宮城県選出国會議員に、復旧対策の迅速化、地域農業復興ビジョンの策定・実践、原発事故対応など 5 項目を要請しました。意見交換では、J A名取岩沼の高橋組合長が農地復旧のためには瓦礫の撤去が最優先であること、ならびに農業振興と対立する TPP 交渉への参加を即刻中止することを求めました。

出席した国會議員からは、与野党の壁を超えて復興に努めたいとの決意表明がありました。

集会後、4 農業団体の代表者は、宮城県知事および東北農政局長にも同様の要請を行いました。



4 農業団体が結束して要請していく旨述べる木村会長（壇上）



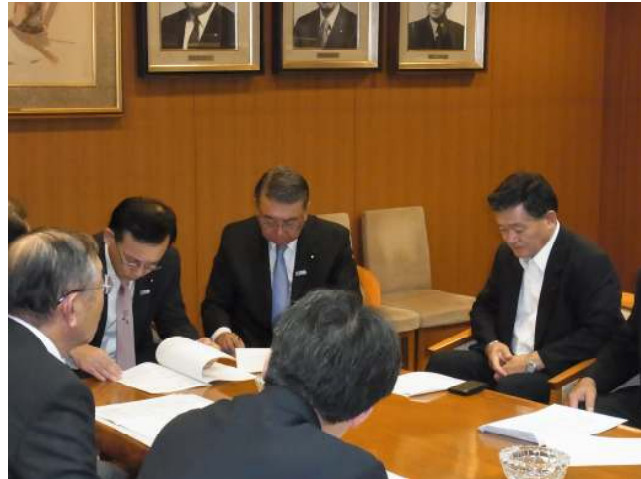
被災地の現状を訴える J A 名取岩沼高橋組合長（右端）

3. 4 農業団体にて農林水産省、民主党・自民党・公明党へ要請活動を実施

6月17日（金）4 農業団体の代表者が、東日本大震災からの農業復興について要請活動を行いました。農林水産省篠原副大臣、民主党松野党組織委員長代理、自民党谷垣総裁、大島副総裁、公明党山口代表に要請書を手渡し、早急な農地復旧と地域農業復興ビジョン策定等を求めました。



民主党松野党組織委員長代理（中央）へ要請書を渡す菅原副会長（左から2番目）



要請内容の説明を聞く谷垣総裁（左から2番目）
早急な農地復旧を訴える菅原副会長（右端）

4. 在日米国公使、在札幌米国総領事が激励訪問

6月15日（水）在日米国大使館ウォール公使と在札幌米国領事館リース総領事が激励のため J A グループ宮城災害復興本部を訪れ、J A 宮城中央会木村会長及び佐藤常務理事と意見交換を行いました。東日本大震災からの農業復興について、現在なにが問題か、今後どうしていくのかを聞かれ、国や行政の復興計画が一日も早く示されることを要請している旨説明しました。また、TPPについて絶対反対であることを強調しました。



木村会長の説明を聞くリース総領事（右端）、ウォール公使（中央）

5. JA愛媛中央会林会長が激励訪問

6月9日(木)JA愛媛中央会林正照会長が、激励のためJAグループ宮城災害復興本部を訪れました。JA宮城中央会菅原副会長、佐藤常務が対応し、感謝の言葉を述べました。

6. JAグループ支援隊活動について

全国JA支援として、4月より継続的に「東日本大震災JAグループ支援隊(全国のJA役職員による災害復興支援ボランティアチーム)が被災JA・組合員への支援活動を行っています。

(1) 第8陣による活動

第8陣55名が6月6日(月)に到着し、同日午後6時から開始されたオリエンテーションにおいて、JA宮城中央会佐藤常務理事が感謝の言葉を述べました。今回の支援隊には、神奈川・兵庫・静岡のJA職員、農林中金・JA全中の職員が参加しています。

第8陣は6月10日(金)まで、JAみやぎ亘理管内イチゴ用パイプハウス内の泥撤去作業およびJAいしのまき管内園芸施設へドロ撤去作業を実施しました。

(2) 第9陣による活動

第9陣63名が6月13日(月)に到着し、同日午後6時15分から開始されたオリエンテーションにおいて、JA宮城中央会佐藤常務理事が感謝の言葉を述べました。今回の支援隊も、神奈川・兵庫・静岡のJA職員、農林中金・JA全中の職員が参加しています。第9陣は6月17日(金)まで、第8陣と同様にJAみやぎ亘理管内イチゴ用パイプハウス内の泥撤去作業およびJAいしのまき管内園芸施設へドロ撤去作業を実施しました。

(3) 第10陣の到着

第10陣69名が6月20日(月)に到着する予定です。6月24日(金)までJAみやぎ亘理管内イチゴ用パイプハウス内の泥撤去作業およびJAいしのまき園芸施設へドロ撤去作業を実施します。今回の支援隊には、神奈川・青森・静岡・高知のJA職員、農林中金・JA全中の職員が参加しています。

7. JAグループ宮城復興支援隊活動について

被災地JAの復旧・復興については4月より全国支援を受けているところですが、宮城県内JA・連合会からも支援活動を行うため、JAグループ宮城復興支援隊を編成しました。

(1) 第1陣による活動

6月14日(火)より16日(木)までJAあさひな役職員41名、JA古川職員4名がJAみやぎ亘理管内にてイチゴハウスのへドロや瓦礫の撤去、選果場の清掃、また栃木県から提供を受けたイチゴ苗1万5千本を育苗するための苗床づくりを行いました。

(2) 第2陣による活動

6月20日(月)より23日(木)まで、JA古川、JAみどりの、全農宮城県本部、JA宮城中央会の職員がJAみやぎ亘理管内にてイチゴ苗の挿し芽作業等を行います。

以上